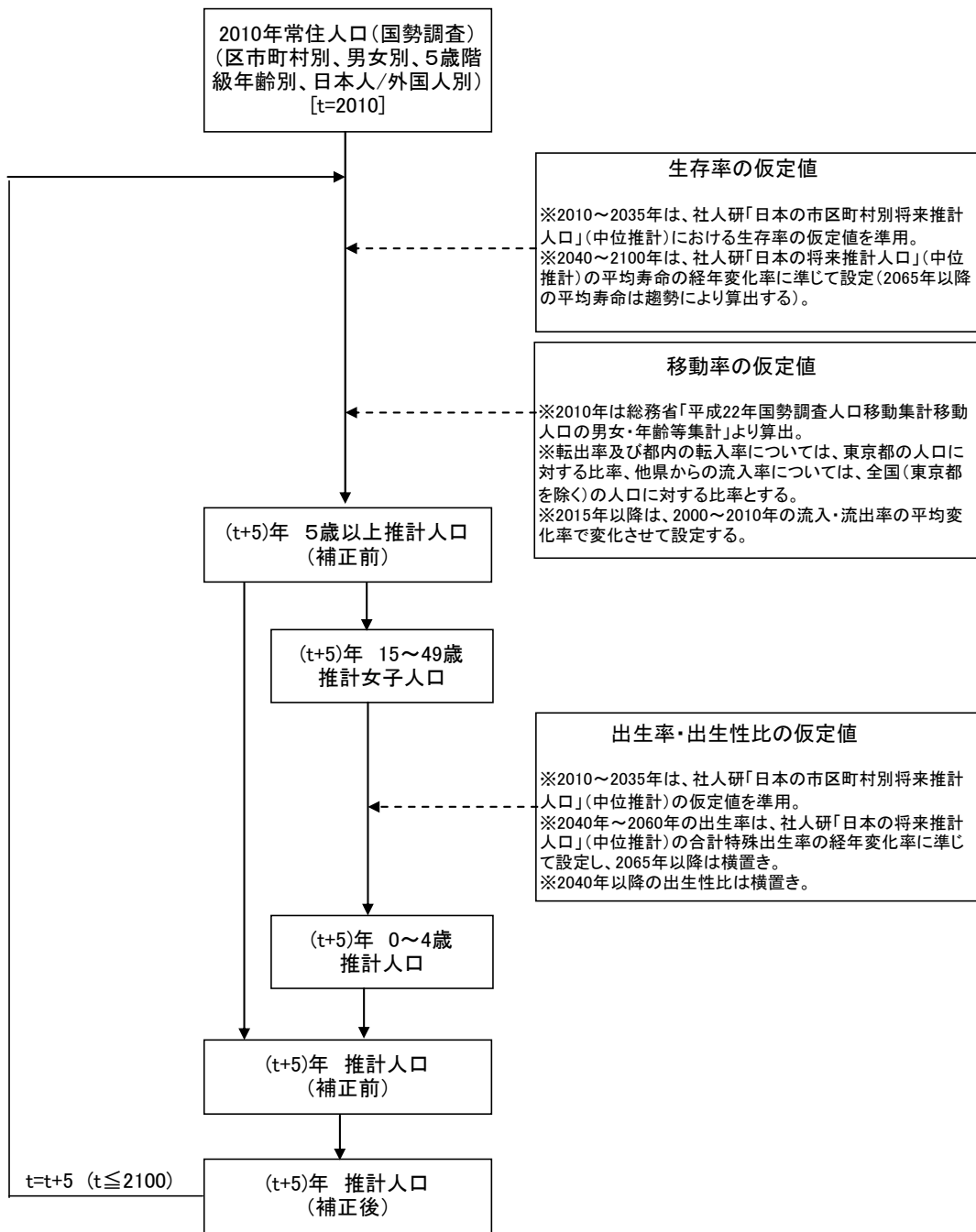


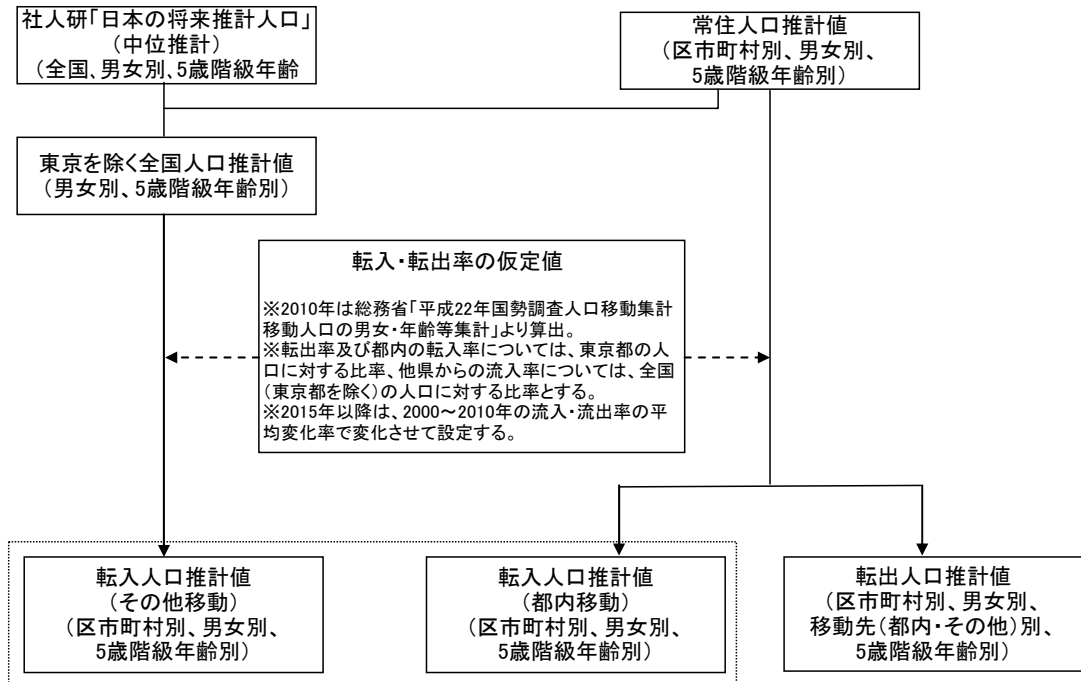
ベース推計

推計フロー

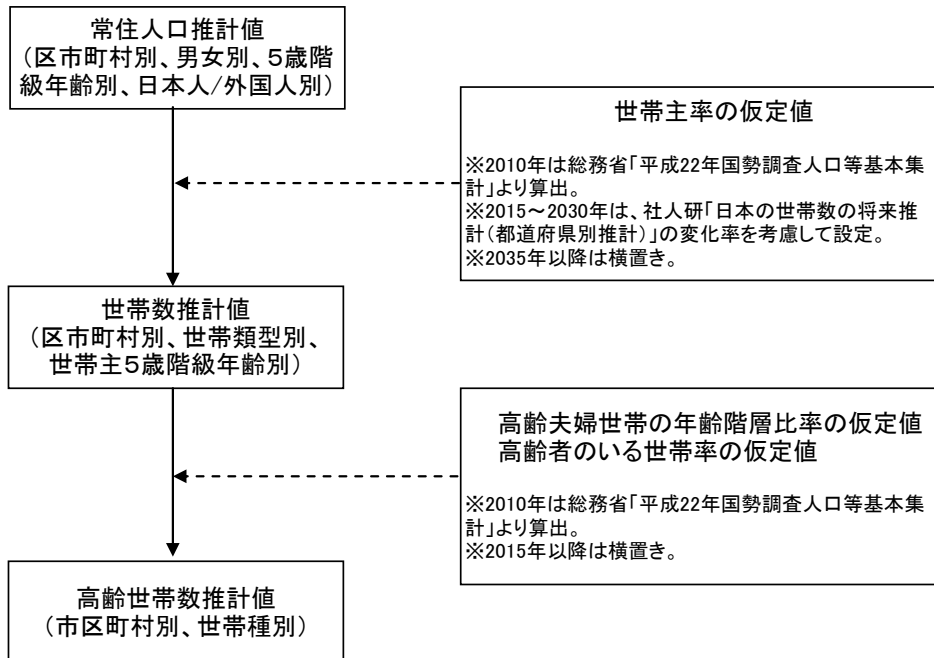
1. 常住人口



2. 転入・転出人口



3. 世帯数

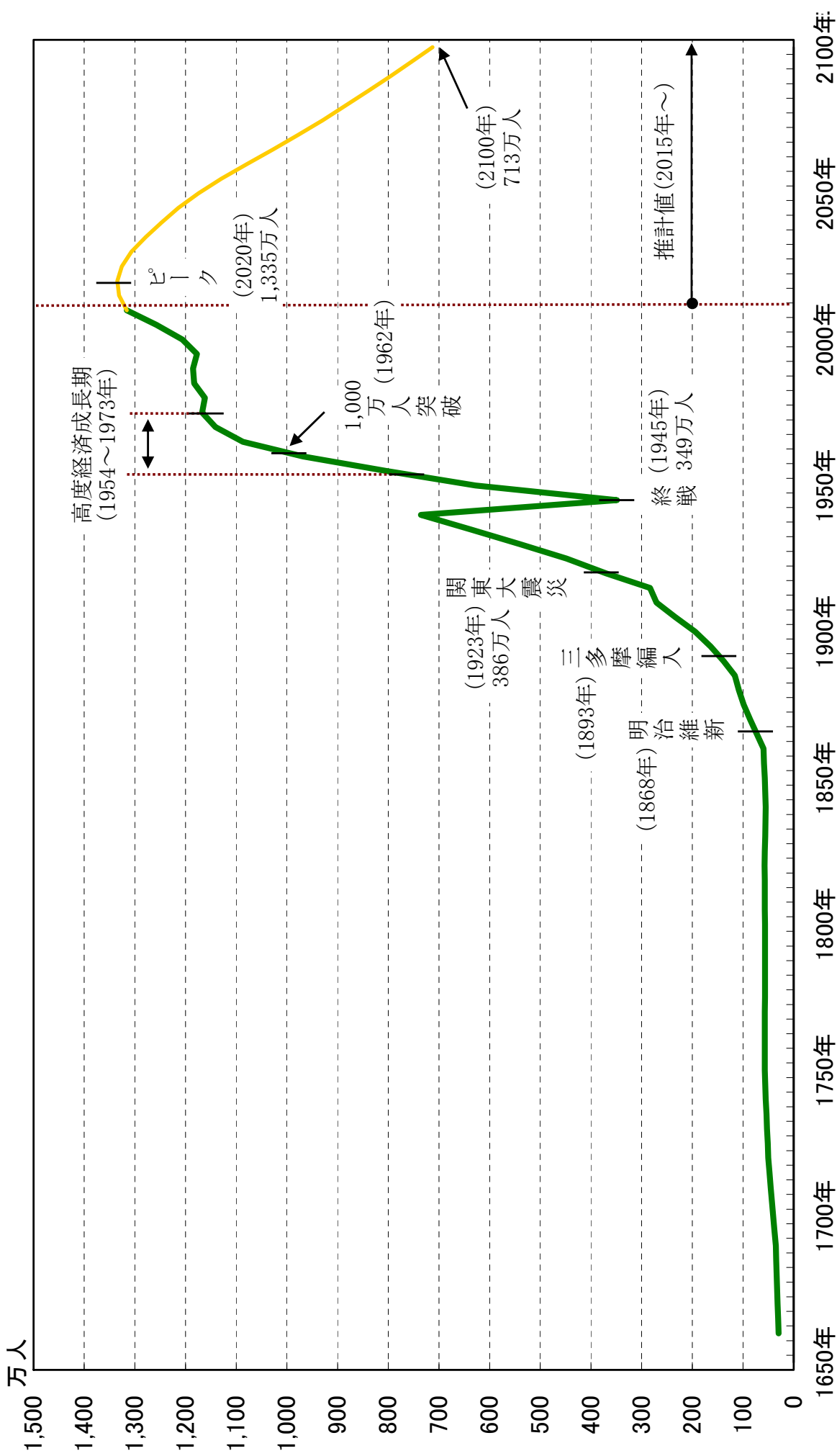


将来人口等の推計から読み取れる東京の将来の姿

【ベース推計】

- 東京の総人口は、2020年の1,335万人をピークに加速度的に減少し、2100年には713万人にまで減少。市部に比べ区部の方が急激に減少していく。(図4-2-2)
- 年齢区分別に見ると、年少人口と生産年齢人口が減少していくのに対し、老年人口は2050年まで増加。(図4-2-3)
- 生産年齢人口は、年を追うごとに減少し、2050年時点で631万人(2010年比で3割減)、2100年には331万人と、2010年比で6割以上も減少。(図4-2-3)
- 年少人口は、2010年と比べ2050年に約2/3、2100年には約1/3に減少。(図4-2-3)
- 老年人口は、2010年の268万人から、ピークを迎える2050年には441万人と、40年間で約6割増加。75歳以上の老年人口で見ると、2060年がピークとなり、2010年比で約2.3倍の282万人に増加。(図4-2-4)
- 2050年以降は、すべての年齢区分で人口減少に転じるが、老年人口比率は上昇を続け、2100年には、約46%に達する。なお、75歳以上の老年人口比率については、2100年時点で約33%にまで達する。(図4-2-3、4-2-4)
- 社会移動数(転入者数－転出者数)については、転入超過の傾向は変わらないものの、転入超過数は次第に減少。全国的に人口が減少していく中で、東京への転入者数も減少していく。(図4-2-5)
- 東京の世帯数を世帯類型別にみると、単身世帯全体の割合があまり大きく変化しないのに対し、高齢者単身世帯の割合は上昇を続け、2010年の9.8%から2050年に19.4%と2倍になり、2100年には23.1%に達する。(図4-2-8)
- 高齢者単身世帯数は、2010年の62万世帯から、ピークを迎える2050年には116万世帯と、40年間で約1.9倍に増加。特に区部において急激に増加していく。(図4-2-7)
- 外国人も含めた東京の1世帯当たりの人員数については、次第に減少し、2030年には1.97人と2人を割り込む。その後、若干の揺り戻しはあるものの、基本的には減少を続け、2100年には1.95人となる。(図4-2-9)

図4-2-1 東京の人口の推移



※1867年以前(江戸時代)は『大江戸まるわかり事典』(大石学編・時事通信出版局・2005.7)より作成(ただし江戸の町人口のみ)
 ※1872年~2010年は東京都統計部「東京都の人口(推計)」より作成、2015年以降は推計値

図4-2-2 東京の将来人口推計

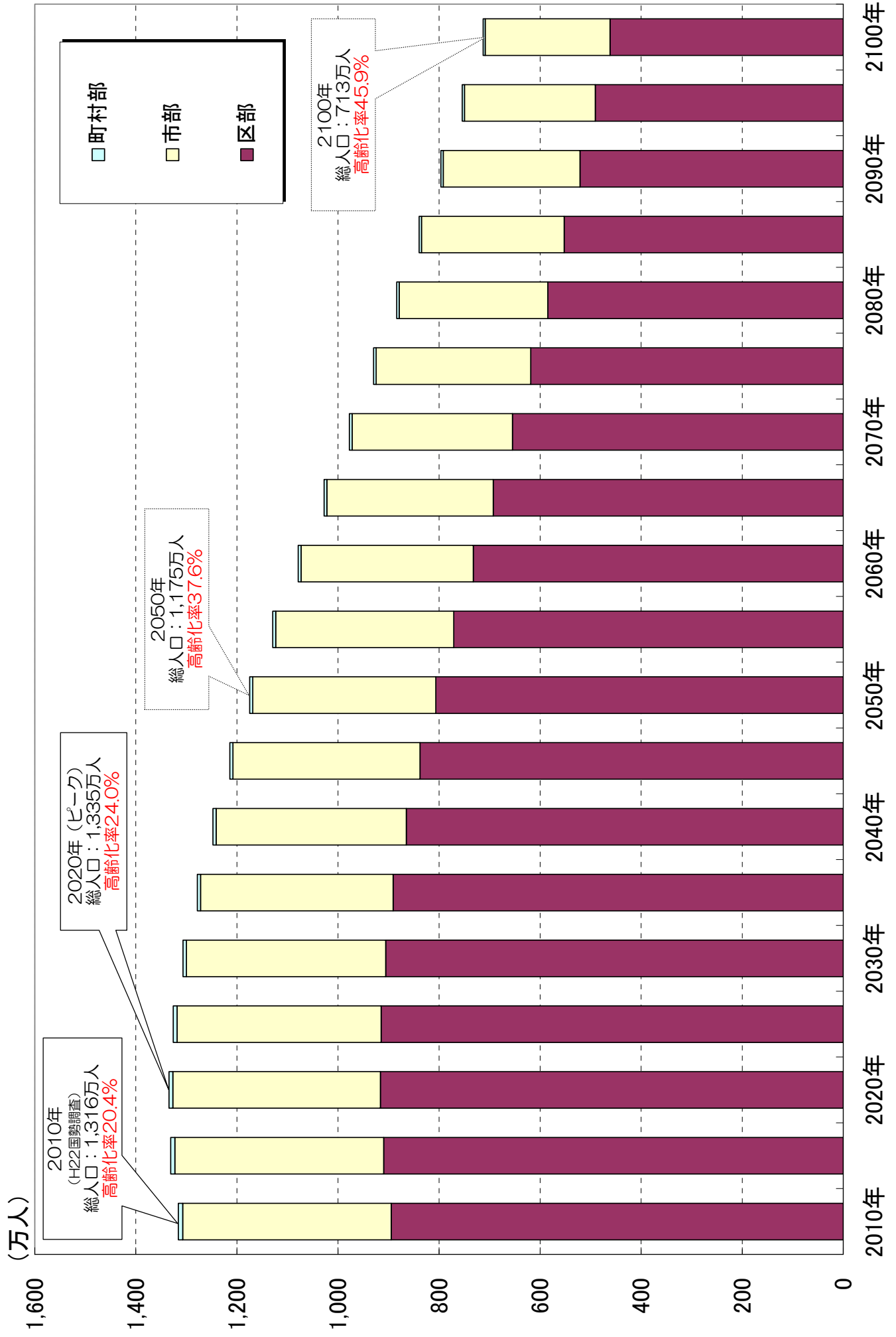
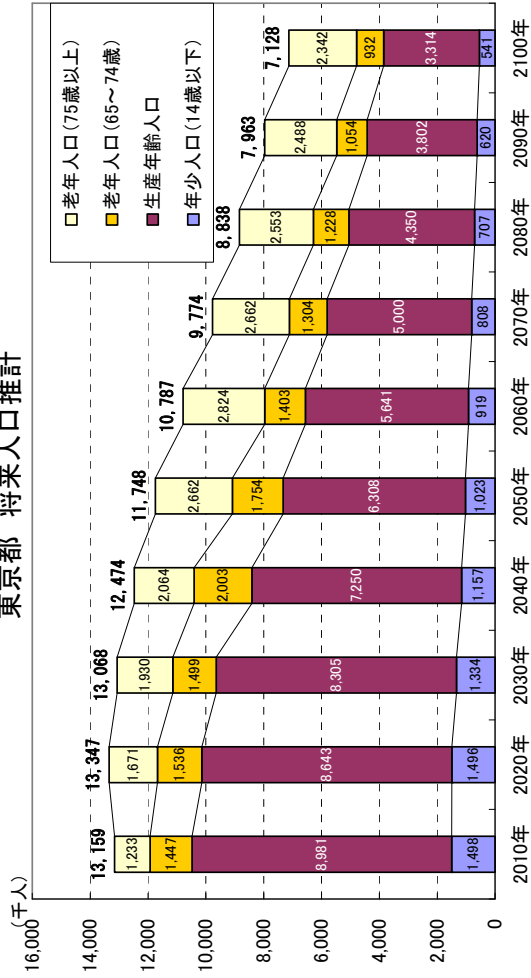


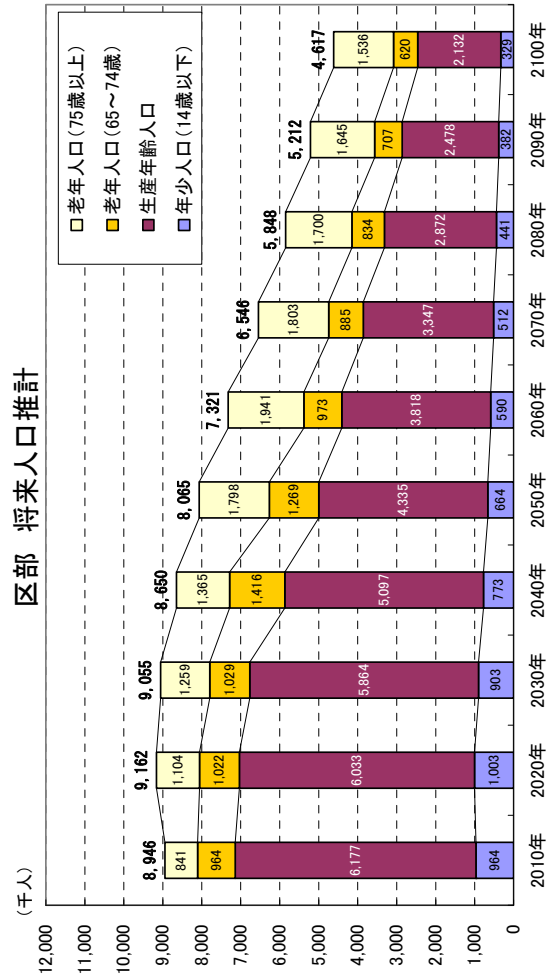
図4-2-3 東京の将来人口推計(年齢3区分別)

東京都 将来人口推計



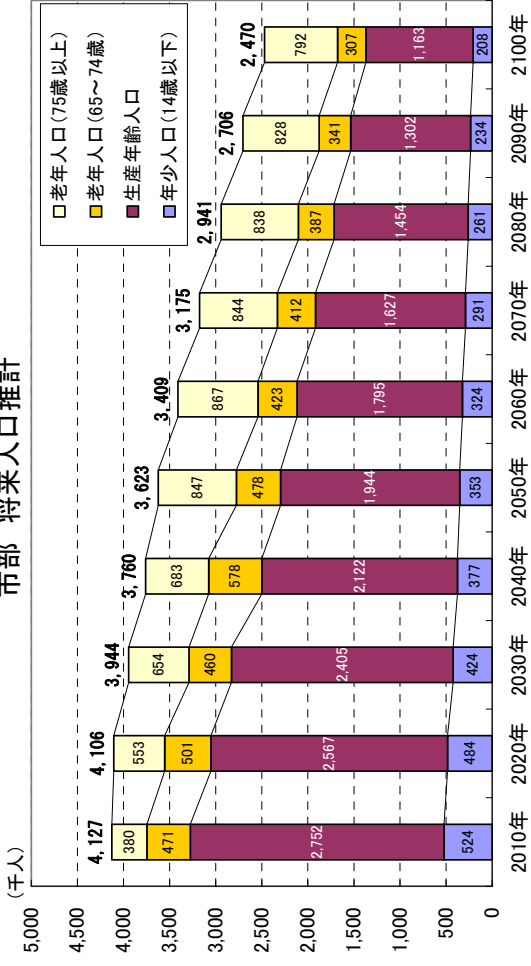
	2010年	2020年	2030年	2040年	2050年	2060年	2070年	2080年	2090年	2100年
年少人口比率	11.4%	11.2%	10.2%	9.3%	8.7%	8.5%	8.3%	8.0%	7.8%	7.6%
生産年齢人口比率	68.2%	64.8%	63.6%	58.1%	53.7%	52.3%	51.2%	49.2%	47.7%	46.5%
老年人口(65~74歳)比率	11.0%	11.5%	11.5%	16.1%	14.9%	13.0%	13.3%	13.9%	13.2%	13.1%
老年人口(75歳以上)比率	9.4%	12.5%	14.8%	16.5%	22.7%	26.2%	27.2%	28.9%	31.2%	32.9%

区部 将来人口推計



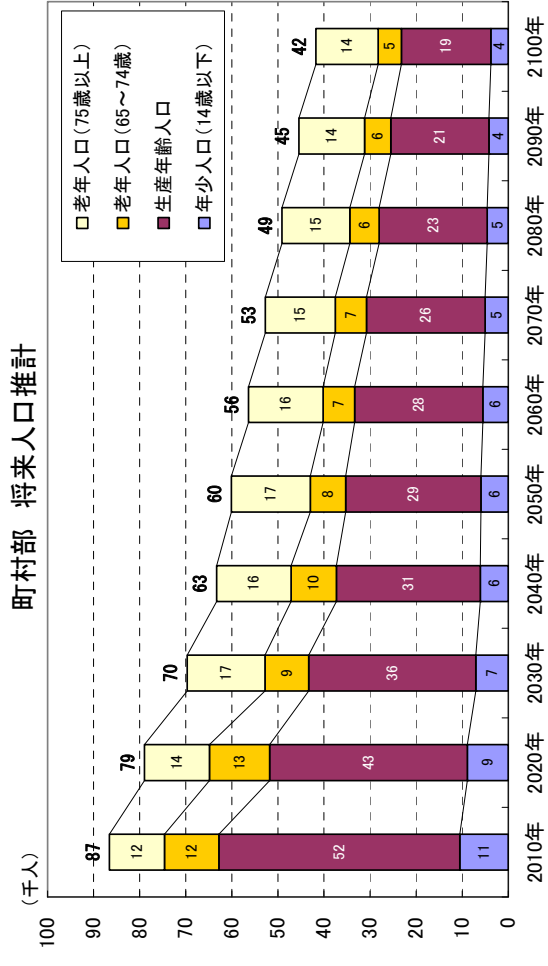
	2010年	2020年	2030年	2040年	2050年	2060年	2070年	2080年	2090年	2100年
年少人口比率	10.8%	10.9%	10.0%	8.9%	8.2%	8.1%	7.8%	7.5%	7.3%	7.1%
生産年齢人口比率	69.0%	65.8%	64.8%	58.9%	53.7%	52.1%	51.1%	49.1%	47.6%	46.2%
老年人口(65~74歳)比率	10.8%	11.2%	11.4%	16.4%	15.7%	13.3%	13.5%	14.3%	13.6%	13.4%
老年人口(75歳以上)比率	9.4%	12.0%	13.9%	15.9%	22.3%	26.5%	27.5%	29.1%	31.6%	33.3%

市部 将来人口推計



	2010年	2020年	2030年	2040年	2050年	2060年	2070年	2080年	2090年	2100年
年少人口比率	12.7%	11.8%	10.8%	10.0%	9.8%	9.5%	9.2%	8.9%	8.6%	8.4%
生産年齢人口比率	66.7%	62.5%	61.0%	56.4%	53.7%	52.7%	51.3%	49.4%	48.1%	47.1%
老年人口(65~74歳)比率	11.4%	12.2%	11.7%	15.4%	13.2%	12.4%	13.0%	13.2%	12.6%	12.4%
老年人口(75歳以上)比率	9.2%	13.5%	16.6%	18.2%	23.4%	25.4%	26.6%	28.5%	30.6%	32.1%

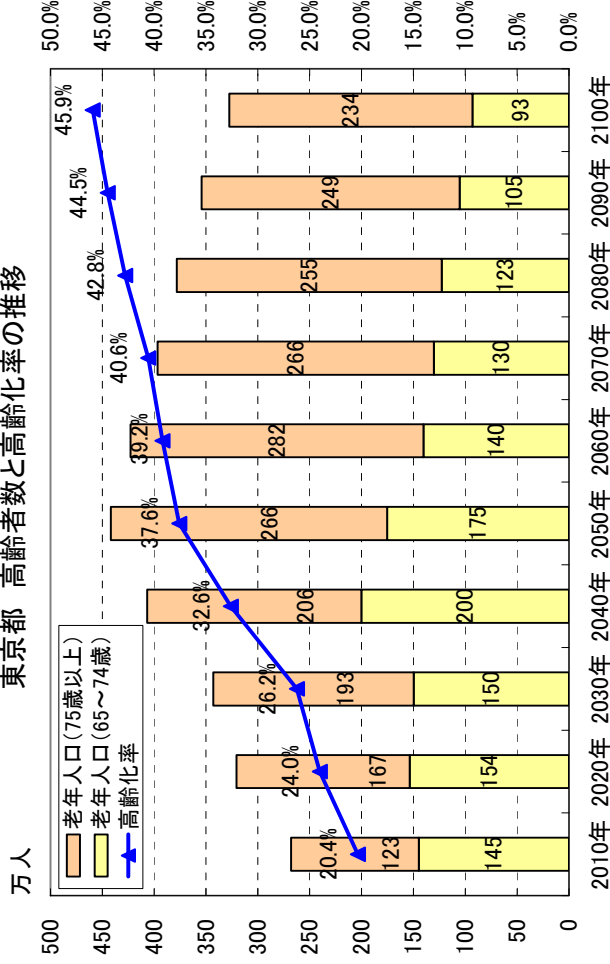
町村部 将来人口推計



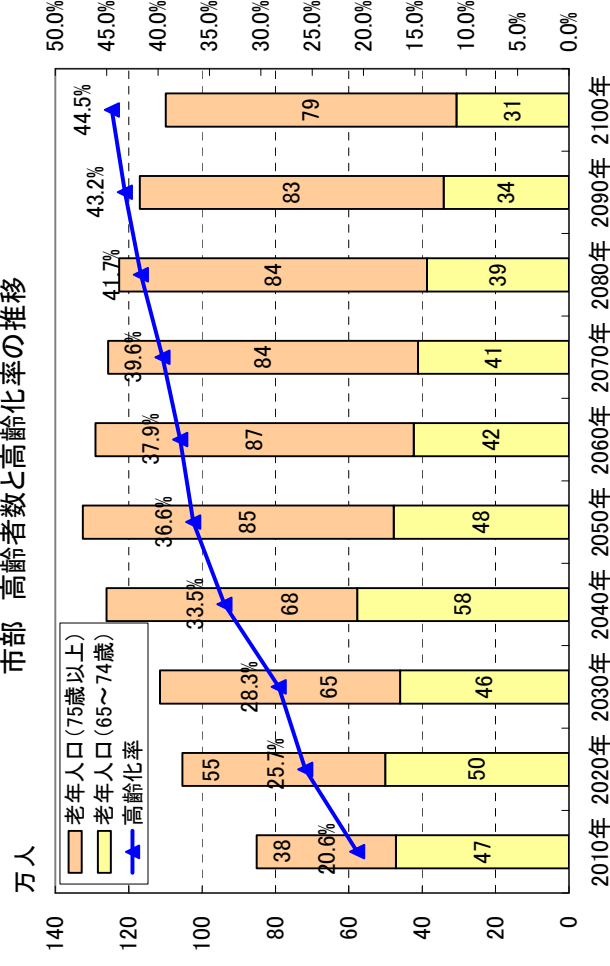
	2010年	2020年	2030年	2040年	2050年	2060年	2070年	2080年	2090年	2100年
年少人口比率	12.2%	11.2%	10.1%	9.6%	9.8%	9.8%	9.6%	9.3%	9.2%	9.0%
生産年齢人口比率	60.4%	54.3%	52.0%	49.3%	48.9%	49.4%	48.8%	47.7%	46.9%	46.5%
老年人口(65~74歳)比率	13.6%	16.5%	13.6%	15.5%	12.8%	12.1%	12.9%	13.0%	12.5%	12.1%
老年人口(75歳以上)比率	13.8%	17.9%	24.3%	25.6%	28.5%	28.7%	28.8%	30.0%	31.4%	32.3%

図4-2-4 東京の高齢者数と高齢化率の推移

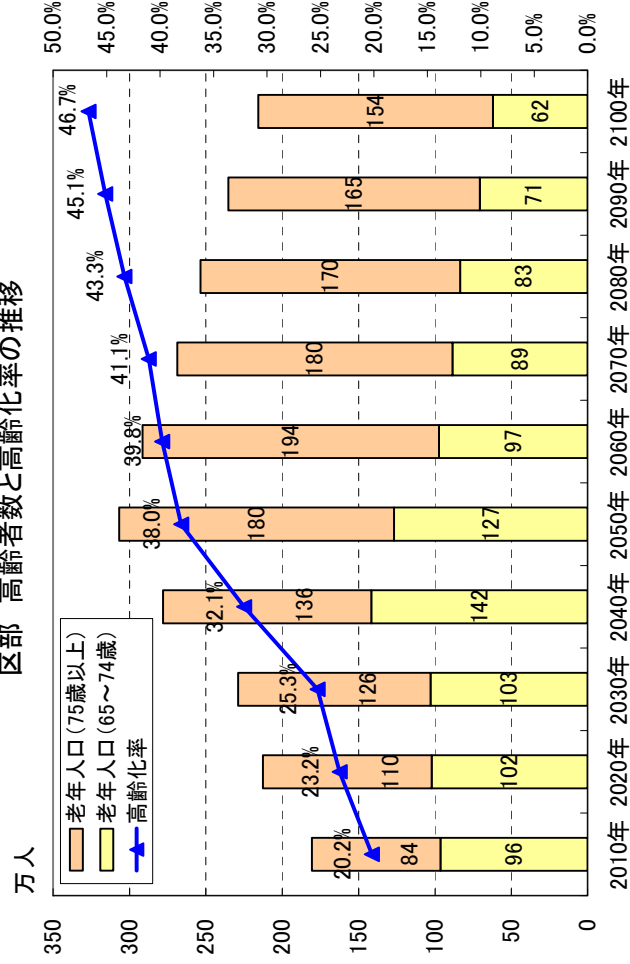
東京都 高齢者数と高齢化率の推移



市部 高齢者数と高齢化率の推移



区部 高齢者数と高齢化率の推移



町村部 高齢者数と高齢化率の推移

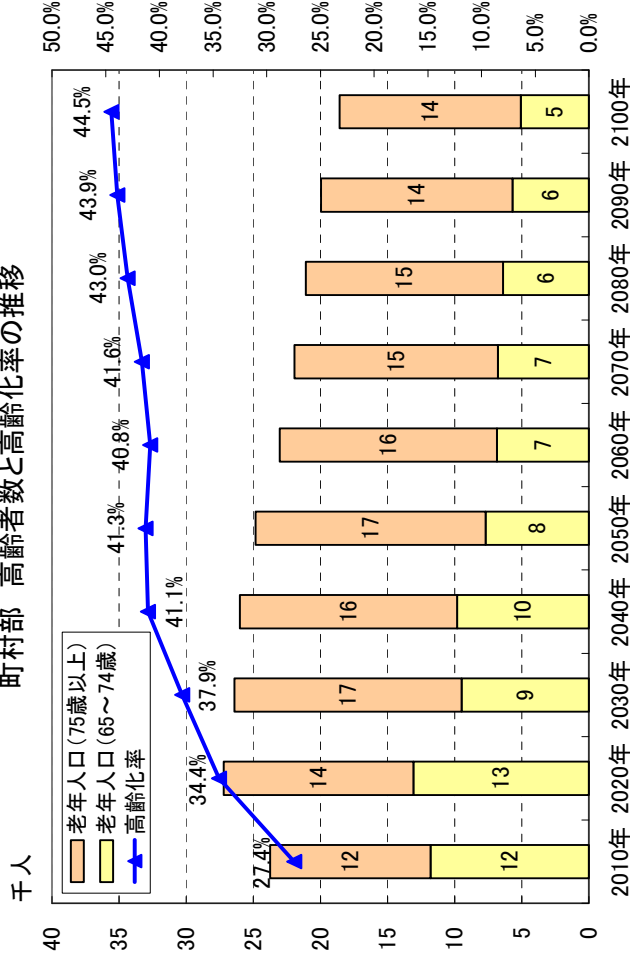
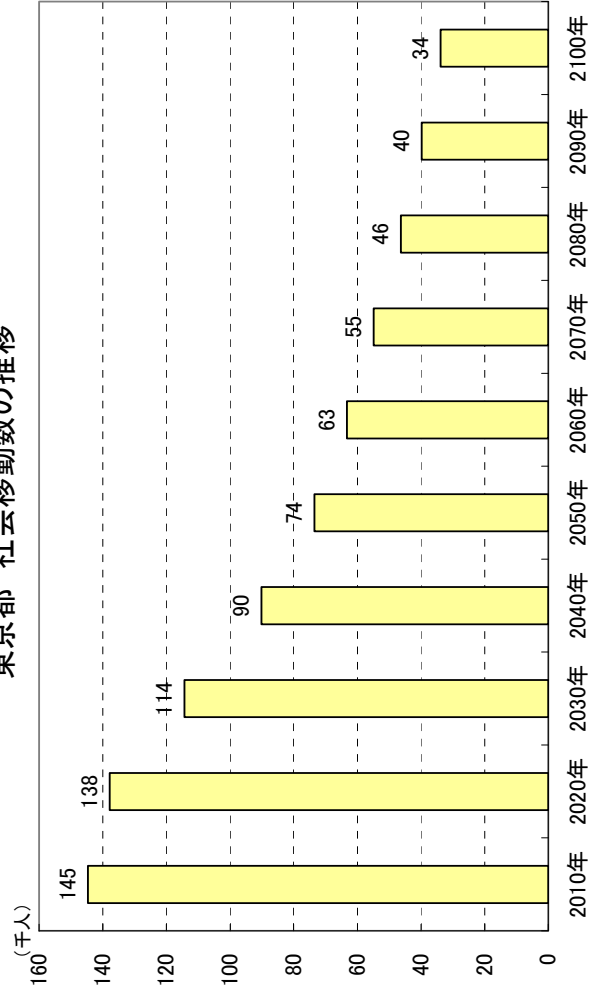
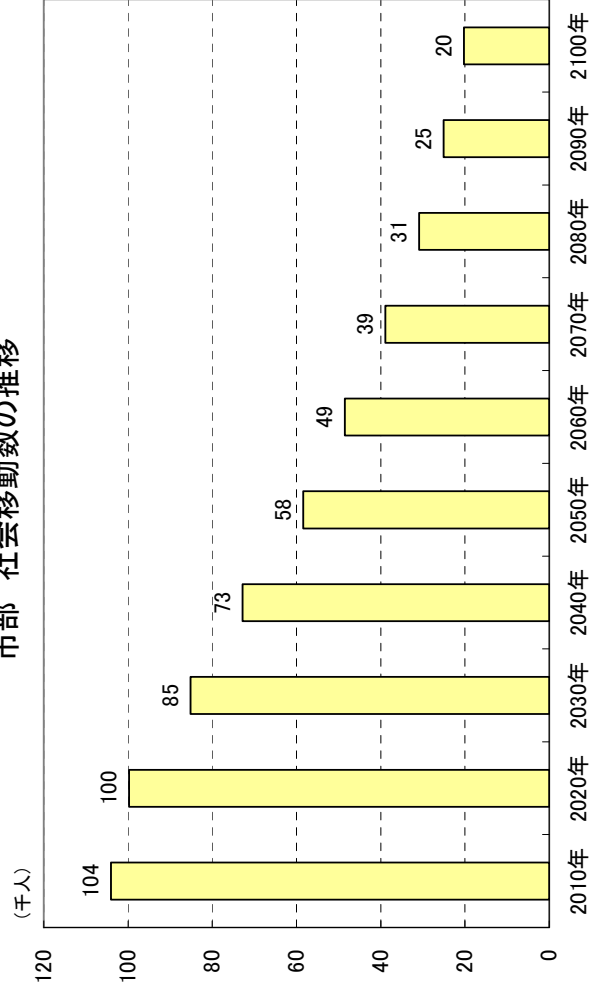


図4-2-5 東京の社会移動数の推移

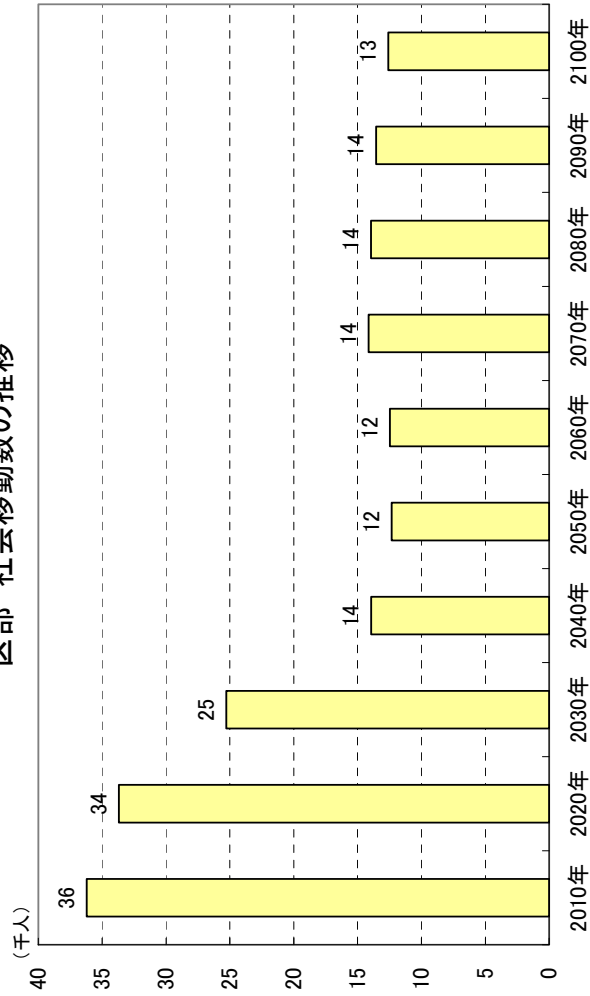
東京都 社会移動数の推移



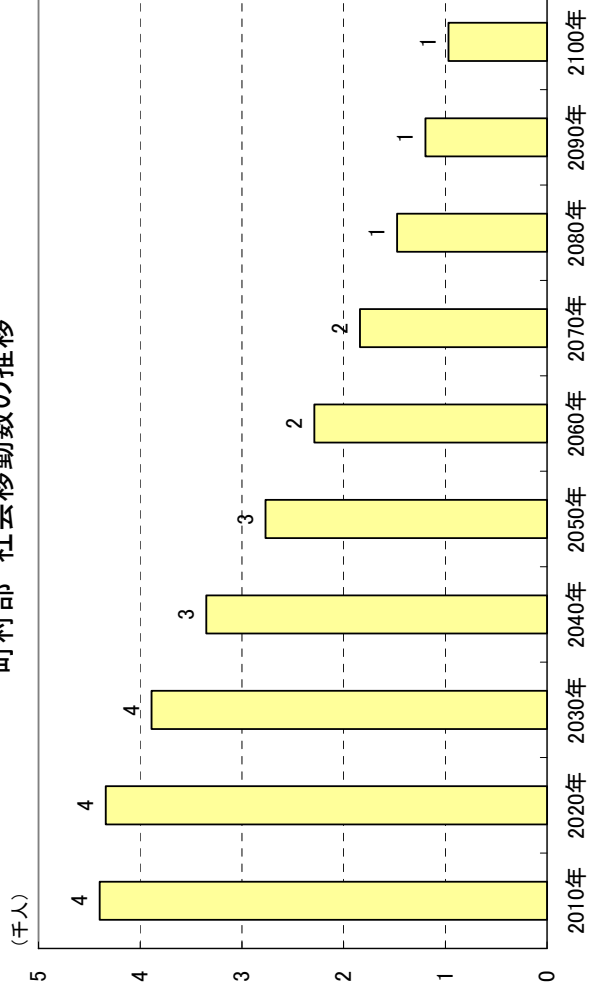
市部 社会移動数の推移



区部 社会移動数の推移



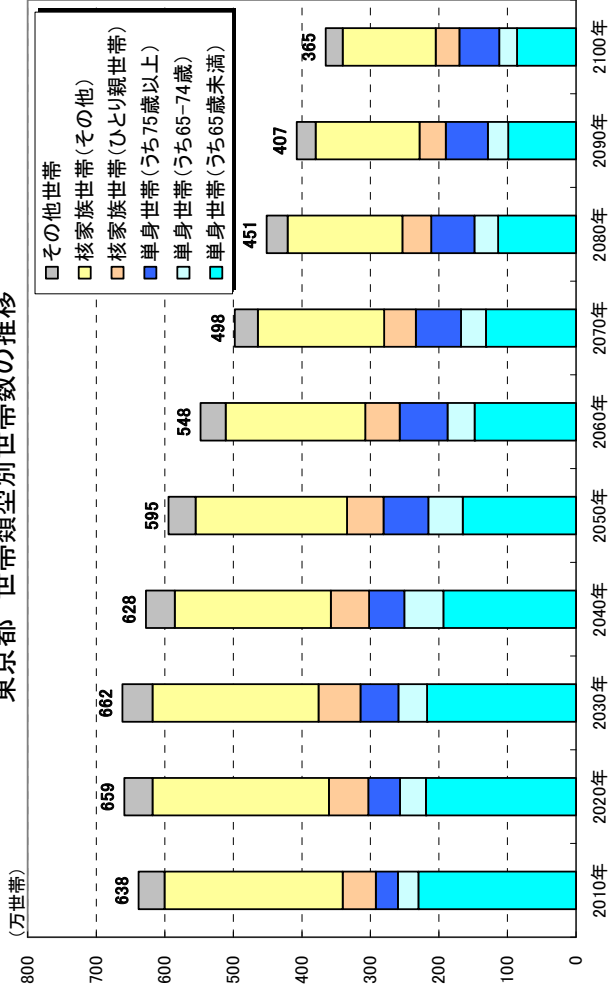
町村部 社会移動数の推移



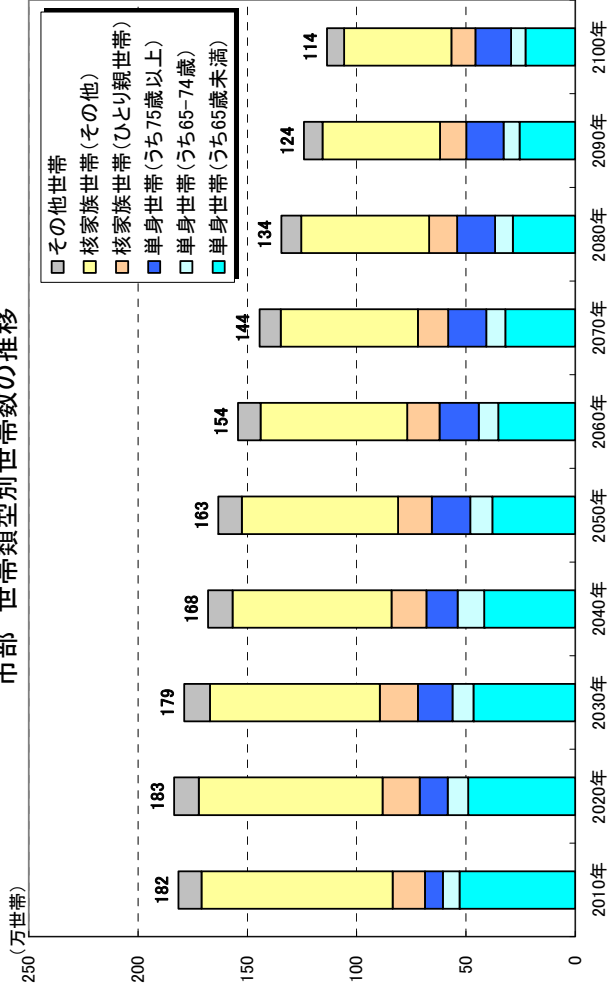
※上記の社会移動数とは、転入者数から転出者数を引いたもの

図4-2-6 東京の世帯数の推移

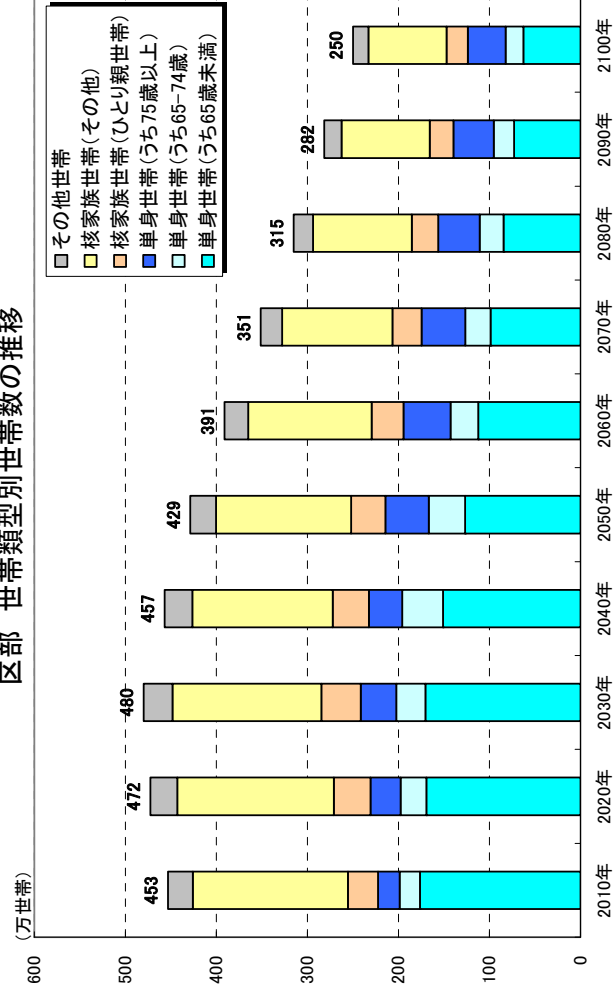
東京都 世帯類型別世帯数の推移



市部 世帯類型別世帯数の推移



区部 世帯類型別世帯数の推移



町村部 世帯類型別世帯数の推移

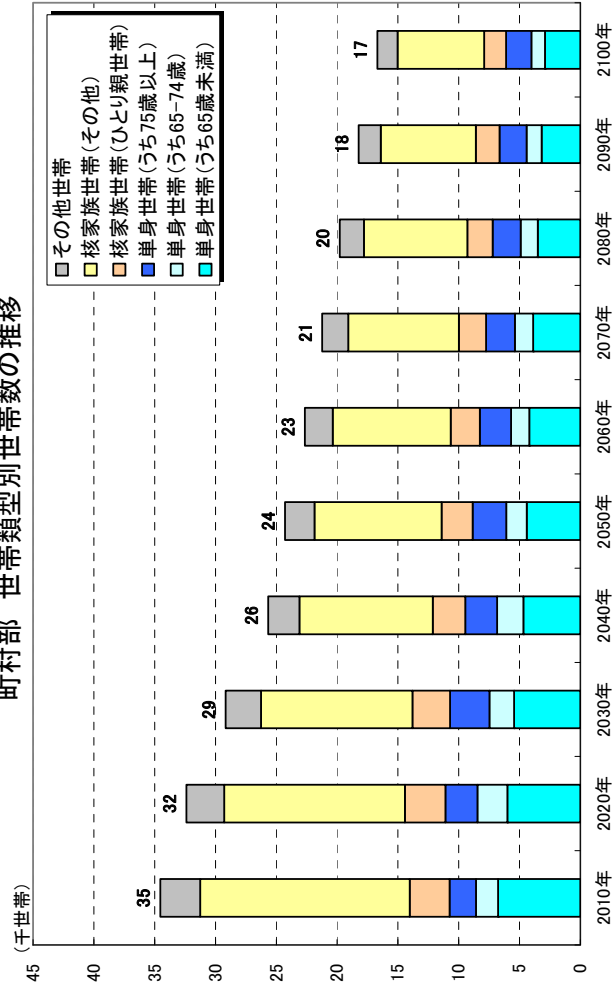
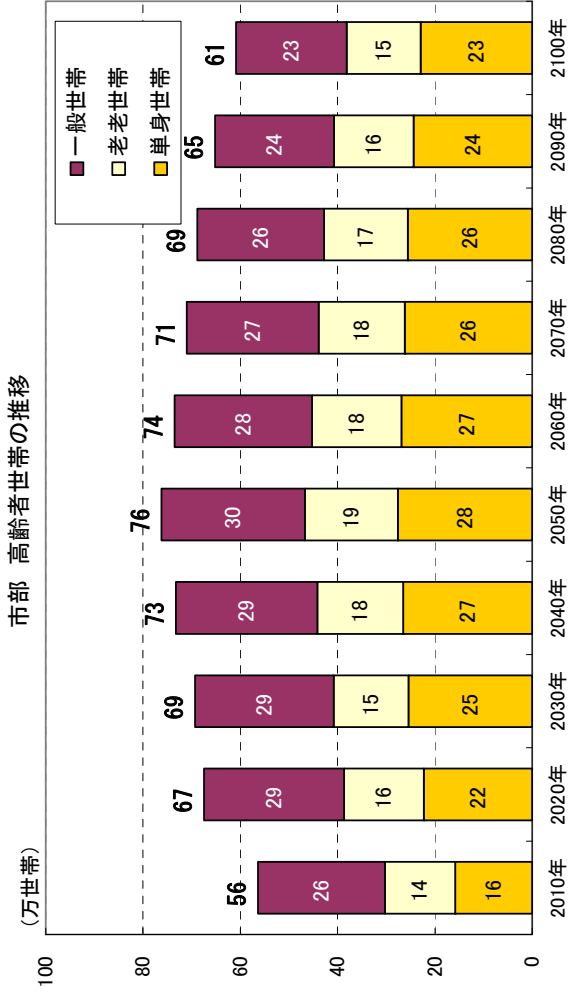
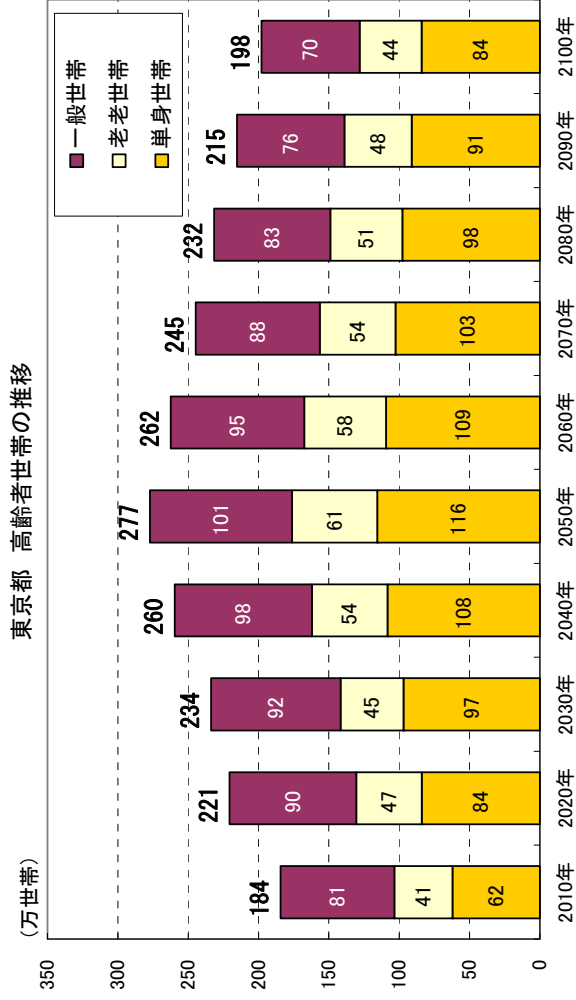
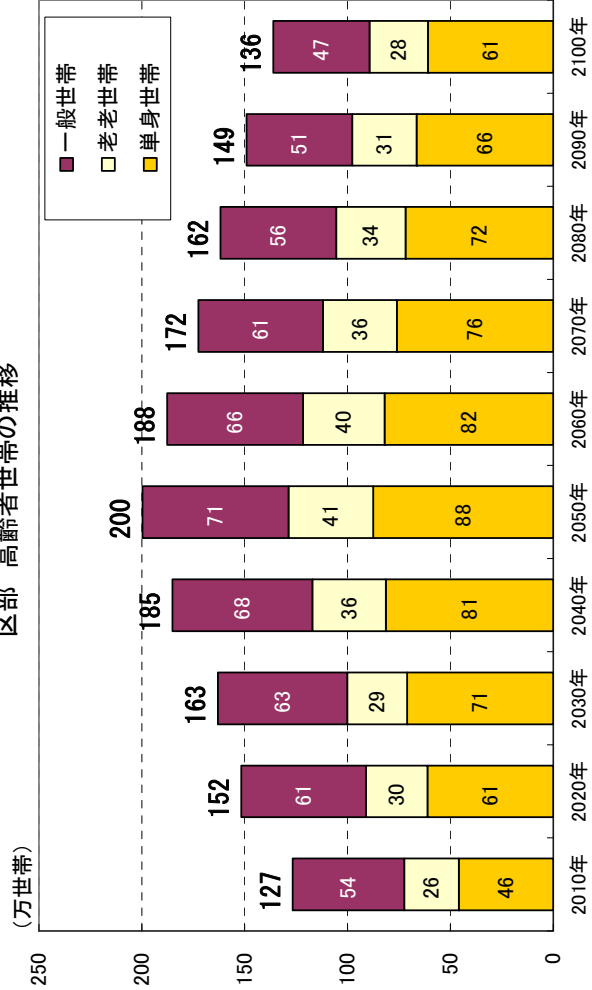


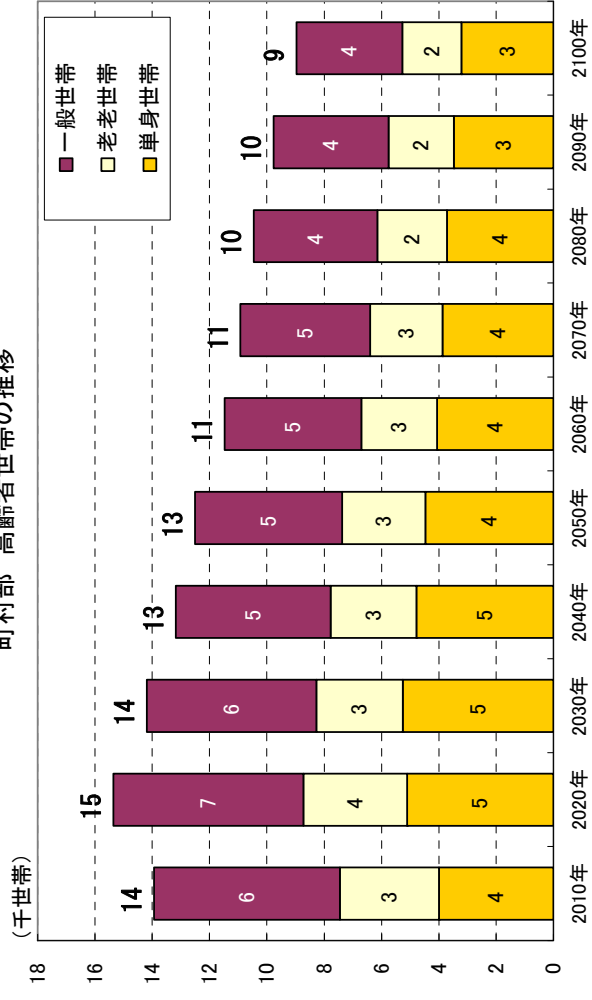
図4-2-7 東京の高齢者世帯の推移



区部 高齢者世帯の推移



町村部 高齢者世帯の推移



※一般世帯とは、65歳以上がいる世帯をいう(単身世帯、老老世帯を除く)。
 ※老老世帯とは、夫婦とも65歳以上の世帯をいう。
 ※単身世帯とは、世帯主が65歳以上の単身世帯をいう。

図4-2-8 東京の総世帯に占める単身世帯の割合の推移

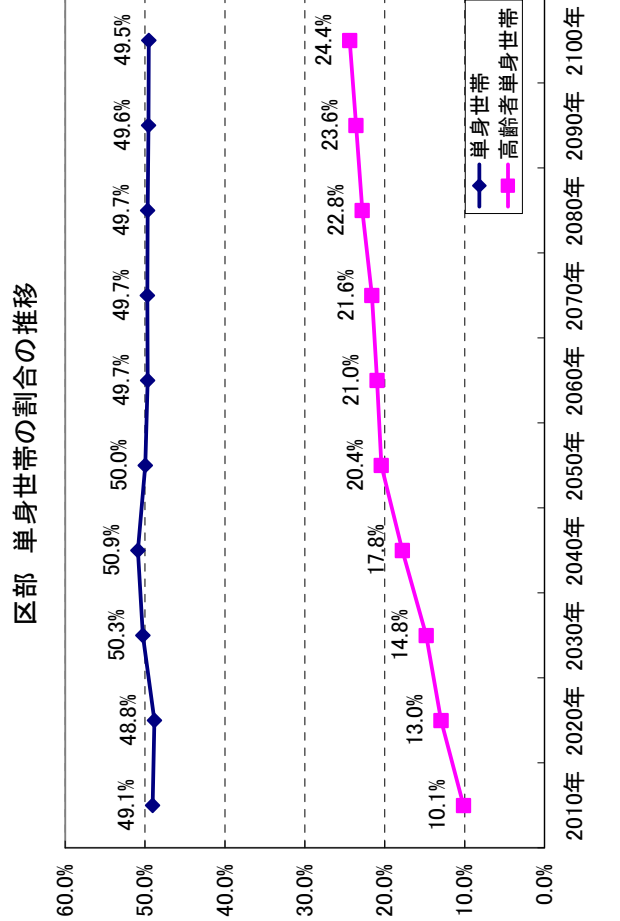
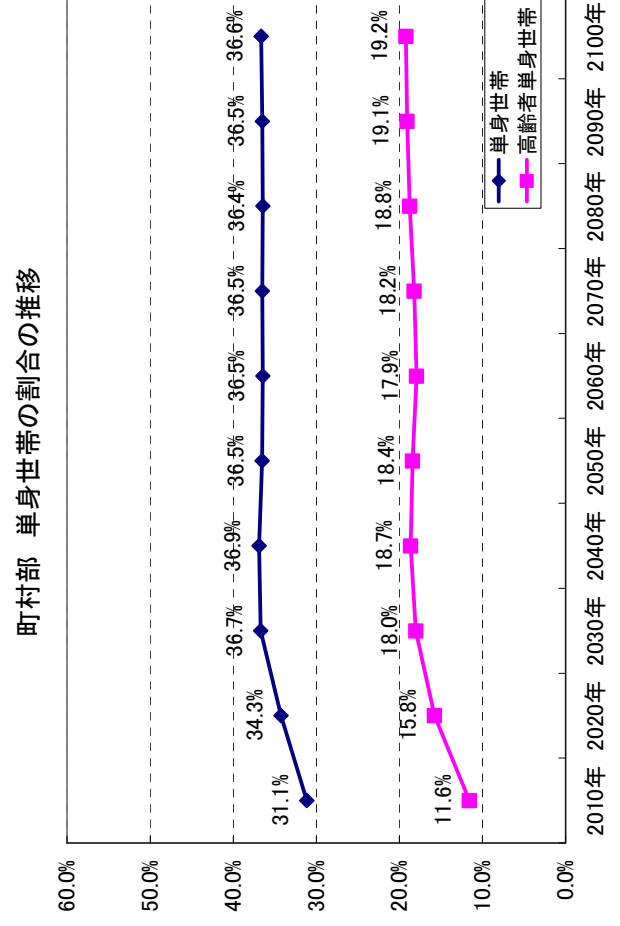
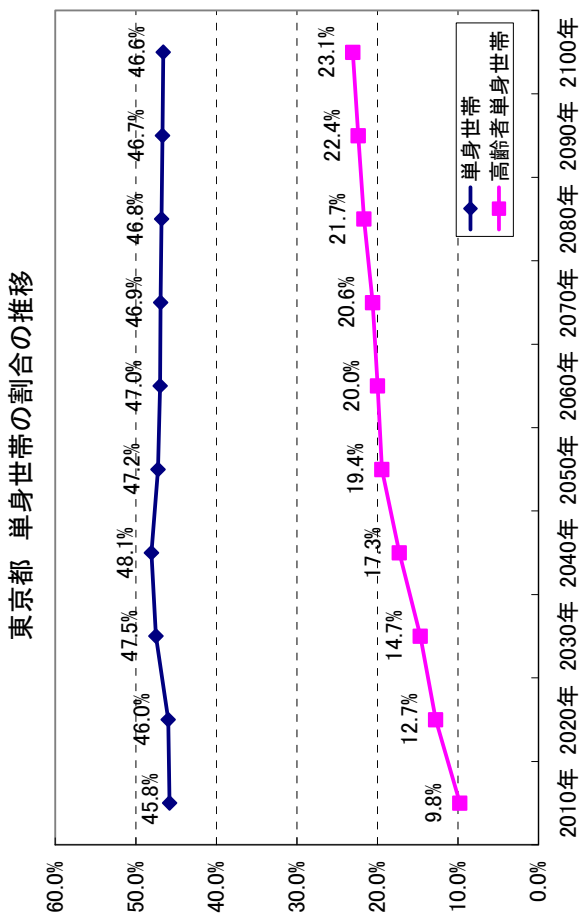
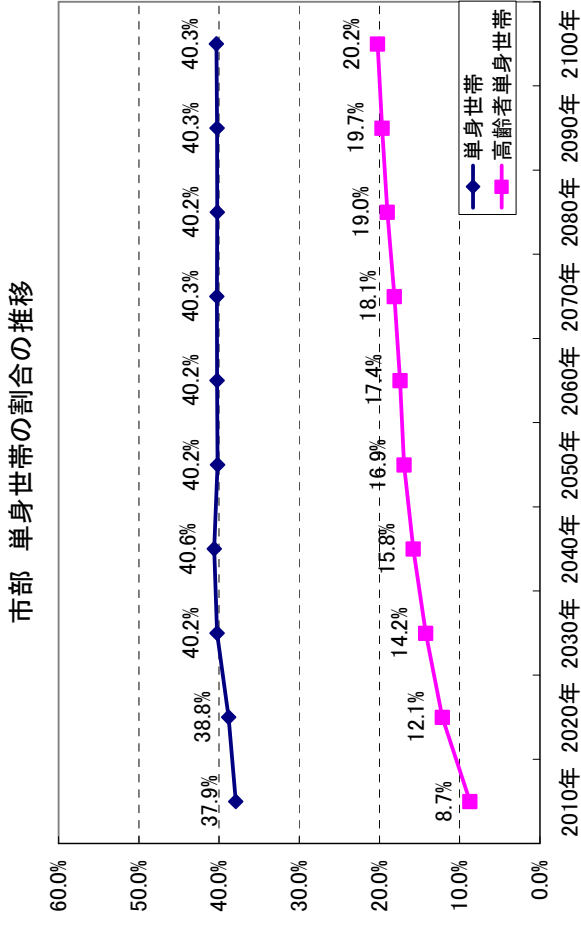
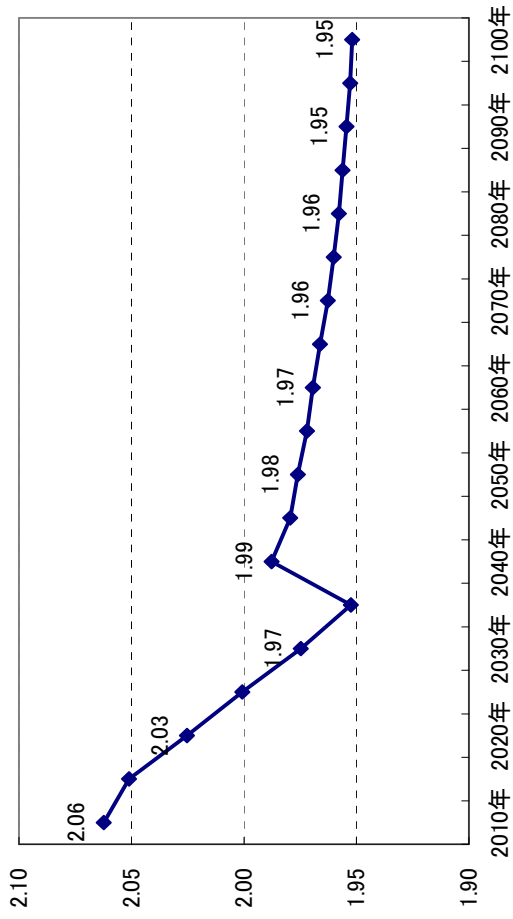
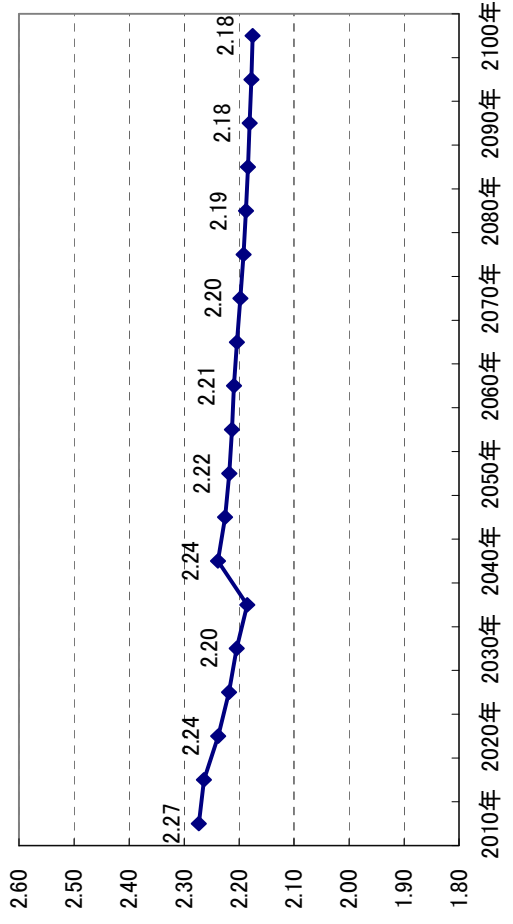


図4-2-9 東京の1世帯当たり人員の推移

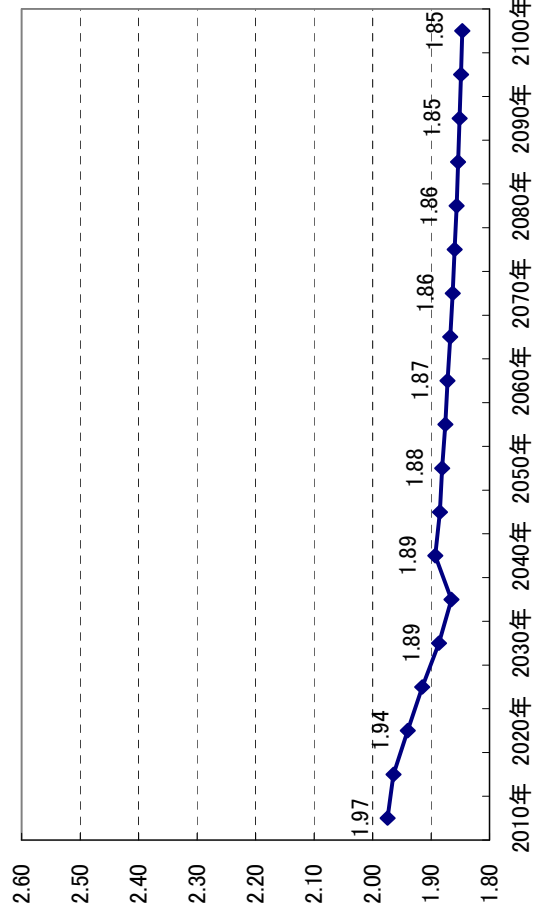
東京都 1世帯当たり人員の推移



市部 1世帯当たり人員の推移



区部 1世帯当たり人員の推移



町村部 1世帯当たり人員の推移

